

みんなでつなぐ明神山烽火プロジェクト  
— 『飛鳥・藤原』の世界遺産登録に向かって—  
を開催しました

王寺町

令和5年12月9日（土曜）、360度の眺望が得られる明神山などで、明日香村・葛城市・国営飛鳥歴史公園飛鳥管理センターと共催して烽火（のろし）を上げました。この明神山烽火プロジェクトは、飛鳥時代の白村江の戦い後、唐・新羅軍の侵攻を恐れ、飛鳥の都へ緊急通報するために備えられた烽火を再現するもので、明神山から飛鳥への烽火リレーに挑戦しました。前年度の成果から、飛鳥まで直接連絡するにはやや距離の遠いことがわかっていいため、明神山であげた烽火を葛城市しあわせの森公園で中継し、そこでも烽火を上げて明日香村甘樫丘へと伝えました。甘樫丘でも受信したことを示す烽火をあげ、当日はやかすみがあったものの見事に成功しました。烽火プロジェクトの結果、明神山から飛鳥まで15分から20分程度あれば烽火で情報伝達が可能なことが明らかになりました。烽火をあげる装置は、奈良県立王寺工業高等学校の生徒さんたちが製作してくれました。令和6年度もプロジェクトを予定していますので、一緒に烽火を体感しましょう。

令和5年度みんなでつなぐ明神山烽火プロジェクト動画

<https://www.youtube.com/watch?v=kwjHpyf0do0>

令和4年度みんなで作る明神山烽火MAPプロジェクト動画

<https://www.youtube.com/watch?v=riLz5YaMbTU>

明神山から発信した烽火



葛城市で中継した烽火



発信合図として甘樫丘であげた烽火

